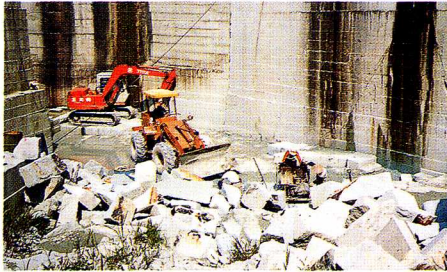


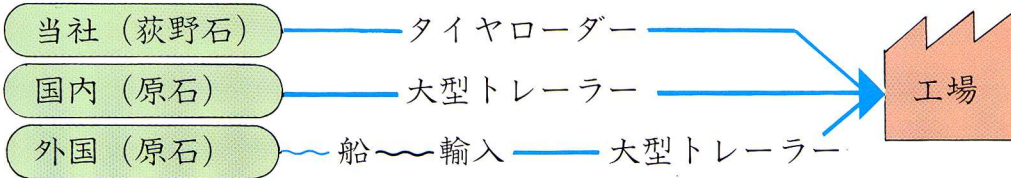
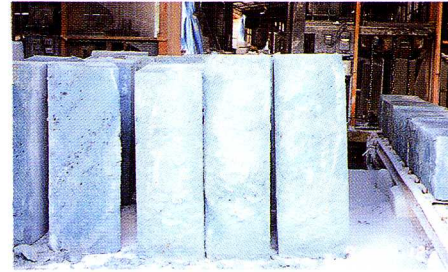
げんりょう

高郷村には全国でも有名な荻野石があります。この石は青味がかつた目のつんだ凝灰岩（軟石）で、全国各地に出荷され使用されています。工場では、この荻野石を主とした国産石が30%、そのほか70%は中国・インド・韓国・南アフリカ・アメリカなどから輸入した原石をげんりょうとして使用しています。また、大理石は100%イタリア産のものです。

▼荻野石の採掘



▼荻野石



せいひん

仕事は、墓石づくりと石工事（ビルや公園など）の2つに大きく分かれていますので数では表せませんが、重さにすると一日13トンぐらいのせいひんをつくっています。これを墓石とすると約3基にあたります。できたせいひんは、会津ぜんいき、関東方面へ送られます。

また、荻野石は、原石のまま主に新潟・富山・秋田に出荷されて石塀・土台などに使用されています。近年は、やわらかいはだざわりや人間の心をなごませる青色の石ということで関東地方はもとより、遠くは九州まで出荷されて、公園の歩道・建物の敷石として使用されています。